

JENESYS2017 招へいプログラム第5陣の記録
テーマ：日 ASEAN 青少年スポーツ交流（ラグビー）
対象国：ASEAN10 か国及び東ティモール

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、ASEAN10 か国及び東ティモールより、ラグビーに関心を有し、今後の活躍が期待される青少年及び各国引率者、ラグビー協会関係者等 163 名が、2017 年 10 月 10 日～10 月 17 日の日程で来日し、「日 ASEAN 青少年スポーツ交流（ラグビー）」をテーマとしたプログラムに参加しました。

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（JRFU）の全面的な協力のもと、同世代の日本人を含めた各国参加者との混成でタグラグビーのチームを作り、練習・交流試合を行いました。国や宗教・習慣を超えた仲間との合同練習・試合等を通じ、日本および各国への理解・友好を深めました。また、講義を通じて、タグラグビーを用いて競争するだけでなく、楽しみ、互いに協力し、各国の絆を築く重要性を学びました。トップリーグの試合観戦や、選手との交流では、高い技術や強固なチームワークを目の当たりにし、自己研鑽へつなげました。

スポーツに関するプログラムのほか、歴史的建造物や先端技術の施設見学を通じて幅広く日本を理解し、様々な体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

163 名（インドネシア 14 名、カンボジア 15 名、シンガポール 15 名、タイ 15 名、東ティモール 15 名、フィリピン 15 名、ブルネイ 15 名、ベトナム 14 名、マレーシア 15 名、ミャンマー 15 名、ラオス 15 名 ※50 音順）

【訪問地】

東京都、静岡県

2. 日程

- 10月10日(火) 成田/羽田空港より入国
静岡県へ移動(バス)
【オリエンテーション】
- 10月11日(水) 【日本理解講義／基調講演】「より良いASEANの実現に向けて
—タグラグビーを用いて—」(公財)日本ラグビーフットボール協会
【地域概要講義】静岡県文化・観光部スポーツ局ラグビーワールド
カップ2019推進課
【ASEAN概要講義】ASEAN事務局
【スポーツ交流】タグラグビールール説明, 合同練習(国別)
【スポーツ交流】ラグビー普及に向けた取り組み①(引率者向け講
義, ワークショップ)
- 10月12日(木) 【スポーツ交流】タグラグビー合同練習(混成チーム)
【スポーツ交流】タグラグビーフレンドリーマッチ(混成チーム)
【スポーツ交流】ラグビー普及に向けた取り組み②(引率者向け講
義, ワークショップ)
- 10月13日(金) 【スポーツ交流】タグラグビーフレンドリーマッチ(混成チーム,
日本チームとの交流)
【交流会】
【日本文化体験】座禅体験
- 10月14日(土) 【歴史的建造物視察】三嶋大社
【スポーツ交流】ラグビートップリーグ試合観戦(於:エコパスタ
ジアム)
【スポーツ交流】ラグビートップリーグ選手との交流
- 10月15日(日) 【ワークショップ】
東京都へ移動(新幹線)
- 10月16日(月) 【報告会】
【最先端技術視察】日本科学未来館
【表敬訪問】堀井巖外務大臣政務官
http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002276.html
- 10月17日(火) 成田/羽田空港より出国

3. プログラム記録写真



10/1 【オリエンテーション】



10/11 【スポーツ交流】 合同練習（国別）



10/12 【スポーツ交流】 タグラグビー合同練習（混成チーム）



10/13 【スポーツ交流】 タグラグビーフレンドリーマッチ（混成チーム、日本チームとの交流）



10/13 【交流会】



10/14 【歴史的建造物視察】 三嶋大社



10/14 【スポーツ交流】 ラグビートップリーグ試合観戦



10/16 【報告会】



10/16 【表敬訪問】堀井巖外務大臣政務官

http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002276.html

4. 参加者の感想（抜粋）

◆インドネシア人学生

日本を始め、様々な国から JENESYS のプログラムに参加しているので、日本の文化、技術や日本の美しい自然と触れ合い、様々な体験ができ、また、他国の文化も知ることができました。いろいろな国の人とラグビーを通して知り合い、交流することが出来ました。帰国後、このような素晴らしい体験や、日本で得た知識そしてネットワークを活かして活動し、自国の発展に貢献したいと思います。

◆カンボジア人学生

素晴らしいコーチと ASEAN 諸国の友人たちとの混成チームでの練習によって友情を育むことができ、とても良い経験になりました。一番印象に残っていることは、一度も経験したことなかったラグビーを体験できたことと、日本人の優しくフレンドリーな笑顔です。さらに、環境に関しては、日本の生活はとても清潔で住みやすいことが分かりました。日本の交通状況を見て、日本人は周りからの目を気にして法律を守るのではなく、一人一人が良き市民として、責任のある行動をしているのだと分かりました。

また、山の上での座禅体験は初めてのことで、とても新鮮で良い気持ちになりました。日本での様々な経験は、本当に素晴らしかったです。

◆シンガポール人学生

私はタグラグビーの講義から「5 つの価値（尊敬・情熱・高潔・自立・結束）」を学びました。そのモットーは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」でした。「楽しみ・遊び」と「勝利・真剣さ」とのバランスを取るよう教えてもらいました。その結果、私たちはタグラグビーを妬みや競争心を持つことなく楽しむことができました。自国のグループではなく、様々な国の人々が混ざるグループで活動することは、私たちを結びつけるのにとても良い方法だったと思います。そうすることによって私たちは人種、言語、宗教などとは関係なくひとつになれました。

◆タイ人学生

日本人はラグビーの試合をする前に、戦う相手選手に対して敬意を払うという文化を持っているということを知りました。お互いに敬意を示すことは大変良いことだと思います。また先端技術についても、細部まで行き渡っていました。例えばトイレの便座が暖かいことには本当に驚きました。次に使用する人のために心配りをしているのだと感じました。その他にも、日本人の規律正しさがとても好きになりました。一人一人自分自身の中に存在する規律に対しての意識が高いと思います。個人のことであり、全体を重要視していると感じました。

◆東ティモール人学生

今回のラグビープログラムで印象的だったのが、ラグビーやタグラグビーをプレイする上で、勝利だけが全てではなく、プレイを楽しむことも大切であるという点です。ラグビーの5つの価値観である、尊敬、情熱、高潔、自立、結束を学びました。これら5つの価値観のおかげで、楽しくラグビーをプレイすることができました。他の国の友人たちとラグビーをした経験から、国は違えどもひとつのチームに属していれば、チームの目標に向けて協力しなければならないということがわかりました。国の違い、言語の違い、文化の違いは問題ではなく、チームとして一つになることが大切だと感じました。

◆フィリピン人学生

講義を通じて日本やラグビーについて多くのことを学びました。タグラグビーの試合前に学んだことは大変役に立ちました。スピードを上げ、スタミナを増強させる方法がわかりました。混成グループでの試合で異国の友人ができ、それぞれの秘めた才能には驚かされました。毎日の食事はおいしく、提供してくださった方々にお礼を申し上げたいです。日本人はとても親切でいつも優しく挨拶してくださり、皆さんの笑顔にとっても心が温まりました。三嶋大社を訪問することができ、とても感動しました。私はずっと神社に行ってみたいと思っていたので、その願いが叶い嬉しかったです。伝統があり清潔で心が落ち着き、いつまでもこの環境が保たれることを願います。

エコパスタジアムはきれいで素晴らしく圧倒されました。プロ選手を間近に見ることが出来、感動しました。2019年のラグビーワールドカップでは観戦者のための安全対策を強化してほしいです。今回の交流プログラムでは始めから終わりまで素晴らしいものでした。きれいな空気、美しい街、自然などいつまでも美しく変わらない日本であってほしいと思います。

◆ブルネイ人学生

JENESYS プログラムは、新しい人との出会い、そして、友情を育めるよう、国混成でプログラムが作られていて、とても感心しました。こんなにもたくさんを経験できる機会に恵まれて嬉しく思っています。講義ではASEANの目指すものについて、またラグビーの価値について学びました。また、講義ではただラグビーを練習するのではなく、交流試合を通して学ぶことの意味を知ることができました。ラグビーの価値観は他のスポーツにも通じるものがあると感じました。

◆ベトナム人学生

日本で私が気に入ったものは、日本の自然と日本人です。日本は近代と伝統、人工と自然が完璧に融合されています。日本人はとても丁寧で、親切です。繊細な思いやりを持ちながらも、社会のために尽くす意識が強いです。ある日、引率者と一緒に、ホテルまで歩いているうちに、道が暗くなってきました。迷子になりそうな私たちに、道で止まっていた車の持ち主が、車のライトをつけて道を照らしてくれました。その心優しさは決して忘れられません。

今回のプログラムに参加させてくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

◆マレーシア人学生

1週間を日本で過ごす、この JENESYS プログラムに参加する機会を得たことを、とても嬉しく誇りに思います。私たちは日本の文化や日本人のマナーについて多くを学びました。特に、時間に対する几帳面さと、清潔さは印象的です。また、ラグビーについても学びました。ラグビーをプレイするにあたり、大切なこととして、「規律」と「尊重」が挙げられます。人種、言語、国、宗教が異なっても、私たちは互いを尊重し、ひとつのチームとして団結してプレイする必要があります。このプログラムではどの講師も楽しく面白いセッションを行ってくれました。この JENESYS プログラムを通じて、私たちは多くの新しい知識を得ました。また他の国からの参加者とも友達になることができました。このプログラムに参加する機会を与えてくださったことに心からお礼を申し上げます。

◆ミャンマー人学生

ASEAN の人々と日本人との交流、日本文化についての説明、それを通じて新しい友達ができたと、さらにラグビー交流ができたとを忘れることができません。この交流プログラムを通じて、日本語、日本文化、そして日本の技術などについても紹介してもらいました。富士山がなぜ日本で一番有名な世界遺産であるのかについても知ることができました。日本人はルールを守り、時間を厳守すること、国をととても愛しているということに気づきました。母国に帰国した際には、日本について、ラグビーについて情報発信を行い、広めていくことを約束します。

◆ラオス人学生

今回の訪日で色々感激することがありました。日本の歴史について学ぶことが出来ました。日本人が信仰する宗教、つまり仏教と神道についてですが、この2つの宗教はよく似ていると思いました。仏教と神道の歴史だけでなく、意識を持つこと、責任感をもつと持つこと、善悪をわきまえること、仕事が増えてストレスがたまった時は、煩惱を絶ち、心を静め落ち着きを取り戻すということを学びました。日本にはすばらしい工業製品があります。町の環境、日本人の国民性は素晴らしいと感じました。ラグビーについては初歩から試合できるまで段階的に色々なテクニックを教えてくださいました。

5. 受入れ側の感想

◆ 団体関係者

ラグビーを通してではあるものの、各国の国民性や国の様子を知ることが出来るチャンスでした。今後この交流に参加する人員を増やすと同時に、感じたことを多くの人たちに伝達する責任があると感じました。

◆ 日本人学生

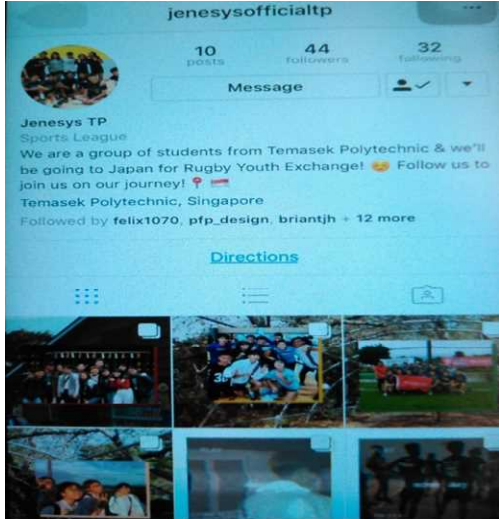
とても楽しかったです。言葉が通じなくて大変だったことは沢山ありますが、そのお陰で全身を用いたコミュニケーションを取ることができて良かったと思います。

◆ 団体関係者

エネルギッシュな子どもたちが来てくれたため、受け入れ側としては大変助かりました。コーチングの際は、子どもたちは礼儀正しく、また反応も良かったため、日本に来る前に日本のことを学んできてくれたのだと感じられました。またこのような機会があれば参加したいと思います。

6. 参加者の対外発信

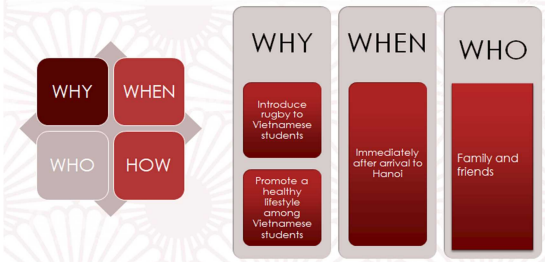
	
三嶋大社についての発信 (Facebook) 静岡の三嶋大社	JENESYS プログラムについての発信 (Facebook) 私の初めての JENESYS2017 プログラム

Rugby 2017 	
ラグビーについての発信 (Facebook) ラグビー2017	プログラムについての発信 (Instagram) シンガポールのテマセクポリテクニク校の学生です。ラグビー交流で日本に行きます。私たちの旅とお付き合いください

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Our Action Plan ▶ Booth for CCN Day ▶ Set up a game booth in our school during Campus Care Network (CCN) Day ▶ Showcase photos and share experiences ▶ PFP Rugby Tournament 2017 ▶ Hold a tournament to help spread the word about rugby ▶ Tournament will attract more attention and raise more awareness about Rugby World Cup 2019 ▶ Rugby Clinics ▶ Conducting weekly rugby sessions to teach youths (both TP and non-TP) about rugby	ACTION PLAN (RUGBY TAKEOVER BN) LEARN. APPRECIATE. ENJOY. <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: separate; border-spacing: 10px;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 10px; vertical-align: top;"> <u>Purpose</u> 1) Make people like Rugby 2) Get the youth to exercise more 3) Make more friends </td> <td style="width: 33%; padding: 10px; vertical-align: top;"> <u>Time</u> We plan to carry out this within a year and as quick as possible </td> <td style="width: 33%; padding: 10px; vertical-align: top;"> <u>Action plan</u> 1) By using the resources available to us, i.e. utilizing the rugby equipment given. 2) By including rugby in the school physical education curriculum. 3) By approaching more students to participate in rugby programs. 4) Us participants could be the ones teaching the younger generation. 5) Hold more rugby games so more people would know about this sport. </td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> <u>Ideas and Suggestions</u> 1) Tell our friends about our experience. 2) Do presentations to different schools about our experience </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> <u>Who?</u> -Who will carry it out? We will carry out this plan with the help of coordinators and with the resources available to us -Who is it aimed for? It is aimed for us and the younger generation </td> <td></td> </tr> </table>	<u>Purpose</u> 1) Make people like Rugby 2) Get the youth to exercise more 3) Make more friends	<u>Time</u> We plan to carry out this within a year and as quick as possible	<u>Action plan</u> 1) By using the resources available to us, i.e. utilizing the rugby equipment given. 2) By including rugby in the school physical education curriculum. 3) By approaching more students to participate in rugby programs. 4) Us participants could be the ones teaching the younger generation. 5) Hold more rugby games so more people would know about this sport.	<u>Ideas and Suggestions</u> 1) Tell our friends about our experience. 2) Do presentations to different schools about our experience	<u>Who?</u> -Who will carry it out? We will carry out this plan with the help of coordinators and with the resources available to us -Who is it aimed for? It is aimed for us and the younger generation	
<u>Purpose</u> 1) Make people like Rugby 2) Get the youth to exercise more 3) Make more friends	<u>Time</u> We plan to carry out this within a year and as quick as possible	<u>Action plan</u> 1) By using the resources available to us, i.e. utilizing the rugby equipment given. 2) By including rugby in the school physical education curriculum. 3) By approaching more students to participate in rugby programs. 4) Us participants could be the ones teaching the younger generation. 5) Hold more rugby games so more people would know about this sport.					
<u>Ideas and Suggestions</u> 1) Tell our friends about our experience. 2) Do presentations to different schools about our experience	<u>Who?</u> -Who will carry it out? We will carry out this plan with the help of coordinators and with the resources available to us -Who is it aimed for? It is aimed for us and the younger generation						
アクション・プランの発表 1 (シンガポール) 1. 学校のチャリティーイベントでラグビーゲームのブースを作り、今回のプログラムに関する展示や報告をする。 2. ラグビートーナメントを開催してラグビーに関する関心を高め、ラグビーワールドカップへの興味を広げる。 3. 毎週ラグビーのセッションを開き、練習やルールなどを学校内外の若者に広げていく。	アクション・プランの発表 2 (ブルネイ) より多くの人にラグビーを好きになってもらえるよう努力する。 ●方法 1. ラグビーの道具を活用しラグビーを広める 2. 体育のカリキュラムにラグビーを薦める 3. より多くの学生がラグビープログラムに参加できるよう働きかける 4. 今回の参加者が若い世代へラグビーを教える 5. より多くのラグビーゲームを実施し、ラグビーを知ってもらう						

4. *LET'S RUGBY NOW*



WHATS OUR ACTION PLAN?

- SPREAD THE MESSAGE-ABOUT JAPAN
- INTRODUCE/EDUCATE THE SPORTS-TAG RUGBY
 - TRU OUR GIR PROGRAM & SOCIAL MEDIA PLATFORMS
 - CREATE MINI COMPETITION AT SCHOOLS
- TELL THEM THE STORY OF RUGBY WORLD CUP IS COMING TO ASIA.

アクション・プランの発表 3 (ベトナム)

1. ラグビーをもっと多くの人に惹きつけさせる。タグラグビーについてのファンページを作成する
2. ベトナムの学校でクラブを組織する
3. ラグビー親善試合を開催し、人々の参加を促す

アクション・プランの発表 4 (マレーシア)

1. 日本についての情報の発信
2. タグラグビーの紹介 (Get Into Rugby プログラムまたは SNS を通じて紹介し、また学校でミニ競技会を開催する。)
3. ラグビーワールドカップがアジアで開催されることについての情報発信